



DXファーストステップ 支援事業

D X 事 例 集

C O N T E N T S

03

事業詳細

支援事例紹介

04

中林建設株式会社

日常の手間削減による生産性向上

05

株式会社光運送

運送業界を変えるDXへの取り組み

06

株式会社森モータース

DX活用で遠隔経営へのチャレンジ

07

河村醤油株式会社

人手に頼らない業務改善

08

清光産業株式会社

デジタル活用による売上拡大

DXで生産性向上や売上拡大を目指しませんか？

デジタル技術を活用した業務変革等に取り組む市内の中小企業を対象に、専門家による、課題の分析から目標設定、解決に向けた伴走支援を行い、生産性向上のロールモデルとなる事例を創出し、市内中小企業にDXの取組の波及を図ります。

STEP
01

現状の可視化

支援の始めに、DXスタート診断を実施して現状について可視化し、開始時点での強みや今後補強していくべき課題点を明確にします。



現状把握

ヒアリングの実施と直近3ヶ年決算書(最低で直近1ヶ年)を収集。現状把握を行います。

可視化

業務で扱う情報について流れ・媒体・受け渡し方法などをヒアリングします。その後、一覧表にて可視化(専門コンサルタントが作業)いたします。

課題整理

診断結果を元に課題を整理。課題によって「**DXによる売上拡大**」「**DXによる業務改善**」「**DXによるリスク回避**」の3テーマに沿った短期～長期の目標を設定します。

STEP
02

計画書の作成

STEP1での実施内容に基づき、支援企業ごとに仮説DX推進計画を策定。経営者の意向に基づき、売上拡大、業務効率化、リスク回避の課題解決計画を立案し、KPIを設定します。計画書を作成し、経営者と実務担当にご説明し、合意形成を図ります。

その後、デジタルツールの導入支援を行い、既存ツールがあればベンダーと打ち合わせし、運用・サポート体制を整備。ツールの導入後も、自社で活用できる状態を目指し支援いたします。

STEP
03

補助や制度のご案内

ITツールの導入にかかる費用の補助として、公的機関の各種補助や助成制度を支援企業へご案内。また、担当するDXアドバイザーが導入したITツール提供先と連携することでツールをより活用できる環境を整え、課題解決を支援します。

STEP
04

効果測定

「DX推進度診断」を実施し、支援開始時との差異を明確にし、さらなる改善に向けたサポートを実施します。初期の可視化結果を再度分析し、実行計画や現状との乖離点など、課題を再度認識・分析し、その後の解決方針を策定。これにより、課題の明確化やDXのモチベーション向上につながります。



中林建設株式会社



所在地 〒743-0022 山口県光市虹ヶ浜2丁目15-10

事業内容 土木事業・建設事業・水道事業・緑化事業
産業廃棄物収集運搬業

従業員数 20名

HPは
こちら



日常の時間削減による生産性向上

参加の背景

毎日の日報集計管理に多くの時間を割いていました。作業完了から請求書作成、提出までの業務管理に課題やリスクを感じていたものの、何から始めてどのように取り組むべきか悩んでいました。現状見えている課題解決に向けた対策や手順などを専門家をお願いしたいと思い応募しました。

支援で取り組んだ内容と成果

1 現状把握・可視化・課題分析

DX診断を実施し、現状を把握するところからスタートしました。
同規模・同業種の他社と平均値を比較し、現状を整理することで取り組むべき事が明確になってきました。

業務フロー図の作成

課題と未来の姿を整理

共通した課題

- アナログ業務の多さ
- 業務の属人化

目指す目標の設定

- 短期 アナログ作業のデジタル化
- 中期 デジタル技術を導入出来ている状態
- 長期 デジタル技術に従業員が活用出来ている状態

デジタル化をはかり
業務効率化が
出来ている組織

2 DX計画の策定

取組む課題・テーマの設定

- 日報業務の効率化
- 現場進捗把握の効率化

計画書の策定

3 デジタル技術の導入活用

導入検討ツール『ヒャクプラス』

時間節約・エラーミスの削減・迅速な対応などの
効果が見込めるツールの使用を検討中です。

導入後に見込める効果

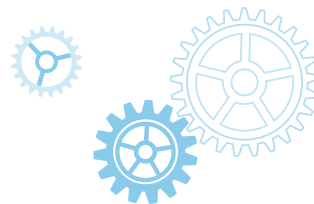
- ・生産性の向上
- ・品質管理の向上 など

今後の展望

デジタル技術を活用し、日報・現場管理の効率化を進めていきます。
今回の経験を活かし、更なる課題発見や対応策を検討していきたいと思っています。

伴走支援を通しての感想

情報提供により視野が広がりました。
業務の可視化が出来始めた事で、今まで不透明だった部分が明らかになり、課題や目標を設定することができました。
DXを利用して、企業が成長できる可能性を感じました。



株式会社光運送



所在地 〒743-0052 山口県光市三井8丁目7番11号
事業内容 運送業
従業員数 44名

HPは
こちら



Instagram

最新情報
掲載中!



運送業界を変えるDXへの取り組み

参加の背景

流通を通じて社会貢献を行うこと、お客様ファーストであり続けること、そして最終目標である“お客様・社員から必要とされる会社”を目指すべく、理念に沿って企業をより良くしていきたいと思っていました。顧客からの信頼や企業イメージ向上のため【第三者認証】取得を検討しており、申請に伴う業務の見直しなどのアドバイスをいただきたいと思い応募しました。

支援で取り組んだ内容と成果

1 現状把握・可視化・課題分析

DX診断を実施し、現状を把握するところからスタートしました。
同規模・同業種の他社と平均値を比較し、現状を整理することで取り組むべき事が明確になってきました。

業務フロー図の作成

データ入力作業が社内ではできないなど、業務フローではなく各作業を実施する手段に課題があることがわかりました。
(クラウドではないシステム利用・VPN環境がない)

課題と未来の姿を整理

現状使用しているサーバーが足かせになっていること、リモート環境への変更が一部しかできていないという課題が見えてきました。

目指す目標の設定

- 短期** 業務の可視化と定量的目標設定(DX認定計画策定)
- 中期** 第三者認証に伴う更なる企業ブランディング向上
- 長期** デジタル技術を活用し“お客様・社員から必要とされる会社”

2 DX計画の策定

取組む課題・テーマの設定

- DX認定計画策定 ●業務効率化に伴うシステム導入
- システム運用 ●ブランディング

計画書の策定

3 デジタル技術の導入活用

導入検討ツール『ヒヤクプラス』

機能だけでなく、切り替えた場合の経費なども他社ツールとの比較検討を実施しました。

導入後に見込める効果

- ・生産性の向上
- ・品質管理の向上 など

今後の展望

デジタル技術は便利ですが、ただ単にデジタル化を進めただけでは効率が悪くなる場合もあると思います。

社員の話を聞き、導入後のことも考えて進める事が大事なので、経営陣だけで判断して進めるのではなく、働く社員含め全員で進めていくという意識が大切です。

まずは、手作業による集計業務等を自動化し、人にはより付加価値の高い業務に専念できるようにしていきたいです。今後の多様性にも対応した働きやすいオフィスを構築していきます。

伴走支援を通しての感想

新たな認証制度を取得することで、今後の中長期的なデジタル化の導入について道筋が見えてきました。

また、リモートワーク促進することで働き方の多様性に対してさらなる環境整備が出来たと思います。

株式会社森モータース



所在地 〒743-0021 山口県光市浅江1丁目17-27
事業内容 自動車販売・点検
従業員数 11名

DX活用で遠隔経営へのチャレンジ

参加の背景

今回の取り組みへの参加の背景として、外部からのアプローチがあり、かつ無料であったことが大きな決め手でした。元々デジタル化には興味があったものの、具体的にどのように進めるべきか明確なプランがなく、自分だけで決めるのは難しいと感じていたことが参加の大きな理由です。また、背中を押してくれる存在があることで、後回しにしがちなデジタル化を実行に移しやすいと考えました。

支援で取り組んだ内容と成果

1 デジタルツールの導入検討

いくつかのツールを比較しながら、コストや機能を踏まえて最適な選択を行いました。最終的にはコストパフォーマンスを重視し、『ジョブカン』ではなく『ハーモス勤怠』を導入する決断をしました。

2 運用計画の策定

導入後のスケジュールについても相談しながら計画を立てることができました。リモートワークの可能性や業務の可視化など、今後の運用に向けた下準備が整いました。

3 デジタル化の課題整理

何をどのように変えるべきかという点について、外部の視点を取り入れながら整理しました。自社内だけでは見えにくい部分に気づくことができた点が大きな成果でした。

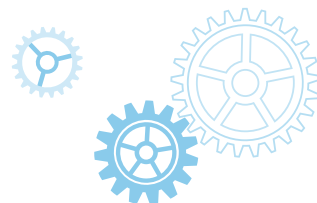
4 今後の事業展開の検討

既存の事業だけでなく、新たに始めたレンタカー事業の可能性についても検討しました。将来的にはEV車の導入やフランチャイズ展開も視野に入れ、ビジネスの拡大を模索しています。

今後の展望

今回の取り組みを通じて、デジタル化の必要性を改めて実感しました。今後は、選定したツールの運用を本格化させ、業務の効率化をさらに進めていく予定です。

また、リモートワークの活用や新規事業の展開など、中長期的な視点で経営の方向性を定めていきたいと考えています。特に、レンタカー事業に関しては今後の成長が期待されており、業界の動向を見ながら戦略を立てていきます。



伴走支援を通しての感想

今回の支援を受けたことで、単なる情報提供にとどまらず、実際に行動を起こすきっかけを得ることができました。特に、外部の意見を聞くことで、これまで気づけなかった視点を得られた点が大きな収穫でした。また、経営者自らが旗を振ることの重要性を改めて認識するとともに、一人で全てを抱え込まず、適切なサポートを受けながら進めることの大切さを実感しました。今後も、継続的なサポートを受けながら、より良い経営環境を整えていきたいと考えています。

河村醤油株式会社



所在地 〒743-0021 山口県光市浅江6丁目1-13
事業内容 醤油製造・販売
従業員数 12名

HPは
こちら



人手に頼らない業務改善

参加の背景

本事業に参加した背景として、既存のシステムが古く、業務の多くが人手に依存しており、ミスの発生や効率の低下が課題となっていました。特に、DXを通じて業務の省力化やミスの削減を実現したいという強い動機がありました。参加前にもデジタル化の取り組みは一部進めており、基幹システムとして『Kintone』を導入していましたが、さらなる改善の余地があると感じていました。

支援で取り組んだ内容と成果

1 『Kintone』の活用強化

社内の情報を一元管理する仕組みを構築したほか、独学でカスタマイズを行うなど、利便性の向上にも努めました。

2 業務プロセスの可視化と最適化

これまで紙や口頭で行っていたアナログな業務をデジタル化し、業務の見える化を実現しました。

3 外部リソースの活用

システム開発やカスタマイズの内製化にはこだわらず、外部リソースを活用する方針を決定しました。

4 新たなシステム連携の課題把握

『TKC』会計システムとのAPI連携の課題を認識し、将来的なクラウド化による解決を見据えた計画を立案しました。

参加したことで、DXの実現が想像以上に可能であると認識し、視野が広がったことが大きな成果となりました。

今後の展望

DXをさらに推進し、今後は以下の取り組みを進めていく予定です。

システム間の連携強化

会計システムとの自動連携を実現し、業務の効率化を加速させます。『TKC』会計システムのクラウド化に合わせて新たな連携手法を模索していきたいと思っています。

運用フェーズへの移行

既存のデジタル化された業務フローを安定的に運用していきます。今後の海外展開を見据えたシステム設計を検討します。

新たな技術の導入検討

DXの進化に合わせた新たなツールの導入を検討し、さらなる業務効率化を目指します。

伴走支援を通しての感想

本事業への参加を通じて、考えが広がり、DXの可能性を実感できたことが最大の収穫でした。費用はかかるものの、やろうとしていたことが実現可能であると認識でき、今後の展開にも自信を持てるようになりました。また、情報の一元管理の重要性を改めて認識し、業務のデジタル化が組織全体の効率化につながることを実感しました。独学での学習には限界があるものの、支援を受けることで効率的に知見を得ることができた点も大きな利点でした。今後、本事業のような伴走支援を活用することで、さらに多くの企業がDXを実現できるのではないかと考えています。

清光産業株式会社



- 所在地 〒743-0013 山口県光市中央6丁目6-9
- 事業内容 リフォーム業
- 従業員数 9名

HPは
こちら



デジタル活用による売上拡大

参加の背景

本事業への参加のきっかけは、紹介を受けたことでした。もともとPR活動やDXに関心はあったものの、実際の運用や効果測定が難しく、これまで十分に活用できていない状況でした。また、企業全体でのリソース不足が課題となり、新しい取り組みに対する負担が懸念されていました。

支援で取り組んだ内容と成果

1 DXの取り組みについての情報提供と分析

2 現状の課題の整理と可視化

5つの項目について問題点と改善策をまとめ、改善の見込みが高い3つの項目に課題を絞りこみました。

3 業務改善や売上拡大の可能性の検討

課題と未来の姿を整理

■顧客情報のデータ化

自社で入力作業を行う場合と外注する場合のメリット・デメリットを可視化して比較検討しました。

■経費の運用見直し



今後の展望

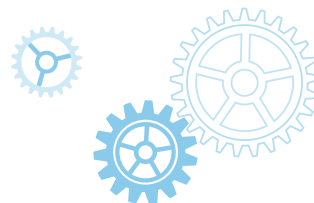
今後の課題として、実際の業務負担をどう軽減しながらDXを進めるかが重要になります。

リソースが限られている中で、どのように実行可能な施策を選択し、成果を上げていくかを引き続き検討する必要があります。

また、社内での協力体制の構築や、運用可能な範囲での改善策を取り入れていくことが求められます。

上記内容を専門家に実施頂くことで今まで漠然とした課題として捉えていた内容が明確になりました。特に大きかったのが課題に対しての優先順位がつけられたことです。

今まではすべてをやらなくてはいけない、時間がない、何もできない状況を繰り返していましたが、今回優先順位をつけていただけたことで具体的な方向性を考えるきっかけになりました。特に、他の企業事例やアドバイスを通じて視野が広がり、経営判断の参考になりました。



伴走支援を通しての感想

参加を通じて、頭の中で整理できていなかった課題が明確になり、分析の仕方や今後の取り組み方についてのヒントを得ることができました。情報の偏りがなく中立的な視点でのアドバイスが役立ち、将来的な施策の選択肢が広がったと感じています。また、他の企業と比較しながら進めることで、自社にとって最適な方法を見極める助けになりました。

お問い合わせ

[発行]

DXファーストステップ支援事務局 (運営:株式会社フォーバル)

〒743-8501 山口県光市中央六丁目1番1号

光市 経済部 商工振興課

Tel : (0833)72-1519

Mail : syoukou@city.hikari.lg.jp

